

令和7年度板橋区立郷土芸能伝承館企画・運営協議会 会議録

会議名	令和7年度板橋区立郷土芸能伝承館企画・運営協議会
開催日時	令和7年6月30日（月）午後6時30分から
開催場所	板橋区立郷土芸能伝承館 地下1階芸能練習室
出席者	22人 【委員ほか】14人 学識経験を有する者2名 民俗芸能等を保持・伝承する団体の代表12名 【事務局（区職員）】5人 生涯学習課長、文化財係長、特命担当係長、文化財係員2名 【指定管理者】3人 郷土芸能伝承館館長、本社担当者2名
会議の公開 （傍聴）	公開（傍聴できる）
次第	1 開会挨拶 2 委嘱状交付 3 委員挨拶 4 会長及び副会長選出 5 職員紹介 6 議題 （1）令和6年度事業実績報告 ①指定管理者選定 ②令和6年度郷土芸能伝承館利用実績 ③令和6年度郷土芸能伝承館関係事業実績 ④令和6年度郷土芸能普及公開並びに啓発事業実績 （2）令和7年度事業計画 ①令和7年度郷土芸能伝承館関係事業計画 ②令和7年度郷土芸能普及公開並びに啓発事業計画 （3）その他 7 閉会
配付資料	（1）令和6年度事業実績報告書 （2）令和7年度事業計画書 （3）板橋区の郷土芸能の「今」と「これから」について
審議状況 （会議概要）	（1）令和6年度事業実績報告 上記について事務局より報告し、承認を得る。 （2）令和7年度事業計画 上記について事務局より提案し、承認を得る。
所管課	生涯学習課文化財係 TEL 03（3579）2636 FAX 03（3579）2635

【会議概要】

概要	<p>1 開会挨拶 生涯学習課長より開会挨拶。</p> <p>2 委員委嘱 各委員へ委嘱状を交付。</p> <p>3 委員挨拶 各委員より自己紹介及び各保存会の活動状況報告。</p> <p>4 会長及び副会長選出 委員の互選により、会長及び副会長を選出。</p> <p>5 職員紹介 事務局及び指定管理者の紹介。</p>
意見等	<p>6 議題</p> <p>(1) 令和6年度事業実績報告 会議資料に沿って事務局が審議内容を説明し、委員の承認を得た。 《 質疑応答 》 【委員A】 指定管理者が行う自主事業のうち、「はじめての和楽器体験会」とはどういった事業内容であったか。 【指定管理者】 施設近隣に所在する大東文化大学の学生邦楽サークル「琴和同会」に講師として協力をいただき、初心者向けの琴・三味線の体験事業を実施した。 ( 承認 )</p> <p>(2) 令和7年度事業計画 会議資料に沿って事務局が審議内容を説明し、委員の承認を得た。 《 質疑応答 》 【事務局】 「いたばしの郷土芸能」について、令和7年度から新たな試みを実施したいと考えている。詳細については、いたばしの郷土芸能実行委員会にて改めてお伝えする。出演団体の皆さまには、ご協力を賜りたい。 【委員B】 「郷土芸能大会」の令和7年度開催日程は決定しているか。 【事務局】 現在、農業委員会にて板橋農業まつりの開催日程を調整中である。そのため、郷土芸能大会についても、日程は未確定である。開催日程が決定しだい、出演団体の皆さまにお伝えする。 ( 承認 )</p>

### (3) その他

【事務局】郷土芸能を継承していくうえで、担い手や後継者不足、道具類の修繕維持等にかかる資金不足、祭事の縮小や人手不足といった課題があるかと思う。板橋区の郷土芸能の「今」と「これから」を考えるうえで、各保存会が抱える課題を区が共有し、解決に向けた取り組みを模索していく機会を作りたい。

まずは、各保存会の現在の状況について、アンケートと聞き取り調査を実施したいと思う。アンケートは、7月中旬以降に順次お送りし、8月中旬ごろまでにご回答いただきたい。回答をもとに聞き取り調査を行い、各保存会の困っていることや目標などを踏まえて、課題解決に向けた方策を考えていければと思う。一朝一夕に解決できる課題ばかりではないが、ご協力のほどよろしく願いたい。

【委員A】こうしたアンケートを実施するというのはすごいことである。(これらの課題は)日本全国で考えられている問題である。解決の糸口があぶり出せれば、すばらしい企画であると思う。短期間で問題をまとめることは困難であると思うが、こうした問題に取り組もうとしていることは、すごいことだと鳥肌が立つ思いである。頑張してほしい。

【委員C】説経浄瑠璃は、楽器と言葉を操って行う芸能である。昨今は「言葉」が変わってきているように感じる。先日とある小学校にお邪魔したところ、若い先生の話している言葉がよく聞き取れなかった。逆に、説経がわからないという人もこういう感覚なのではないかと思った。ぜひアンケートを実施していただいて、どういう保存の方法があるのか考えていきたい。

【委員A】フィールドワークの調査で、福井県若狭地方の高浜七年祭りに何度か足を運んだことがある。ここでは、子どもや若者も芸能に参加しており、若い世代にも芸能が継承されている。子どもたちが元気に踊ったりしているのを確かめるために調査に行っている。他の地方では、(芸能に参加する)子どもが少ないところも多く、気がかりである。

## 7 閉会

会議の概要は、以上のとおりである。